

高校生たちによる新たな夏の風物詩

「うみぼす甲子園 2022」決勝戦の初開催に協力
～ 海の課題をテーマにポスター制作&プレゼンテーション ～

プロフェッショナル・エージェンシー事業を展開する株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井川幸広、以下C&R社)は、一般社団法人海洋連盟(所在地:東京都港区、代表理事:妹尾博之)が主催する高校生のためのポスター&プレゼンテーションコンテスト「うみぼす甲子園 2022」決勝戦の企画協力・運営を担当いたしました。なお、初開催となる「うみぼす甲子園 2022」において見事優勝に輝いたのは、鹿児島県の鳳凰高等学校「UMI plus」チーム。優勝特典として、10万円相当分の活動サポートが贈られました。

「うみぼす」は、“地元を海をスターにしよう!”を合い言葉にみんなで海を盛り上げる全員参加型の海のPRコンテストです。8年目を迎えた本コンテストは今年、初の試みとなる高校生大会「うみぼす甲子園」を開催。「海の課題」をテーマに全国各地の高校生から200以上のポスターが集まり、審査で選ばれた14チームが決勝に進出しました。決勝戦は8月28日(日)に東京・虎ノ門で行われ、全国から集まった高校生たちが自分たちで作成した海のポスターについて3分間でプレゼンテーション、ポスターへ込めた想いや活動の目標などをPRしました。俳優・気象予報士の石原良純氏をはじめとする審査員5名による厳正なる審査の結果、鳳凰高等学校「UMI plus」チームが優勝に輝きました。

今回、C&R社は、制作スタッフのアサインやイベント内の演出・構成、会場のアレンジ、当日のイベント運営、ライブ配信など、本決勝戦の企画協力・運営を担当いたしました。当日のYouTubeライブ配信は、約2,500名が視聴。現在、うみぼす公式YouTubeチャンネルでアーカイブ映像がご視聴いただけます。なお、「うみぼす甲子園」は来年度も開催予定です。この夏、高校生たちが繰り広げた熱いバトルをぜひご覧ください。

高校生のためのポスター&プレゼンテーションコンテスト「うみぼす甲子園 2022」決勝戦 概要

■内容

全国の高校生を対象にした、地元を海の課題に対する解決方法のアイデアをポスターにして、その魅力を自らプレゼンテーションするコンテストです。以下の4つの総合力で優勝校を決定します。

- (1) 発想するチカラ(解決のためのアイデア)
- (2) SNS等で情報を拡散するチカラ
- (3) ポスター制作による表現するチカラ
- (4) プレゼンテーション=提案するチカラ

■開催日時

2022年8月28日(日)10:30~14:00

■場所

THE CORE KITCHEN/SPACE(東京・虎ノ門)

■参加チーム数

14チーム(計:52名)

■審査員 ※敬称略

石原良純(俳優・気象予報士)
Chocomoo(京都出身のイラストレーター)
鈴木 香里武(岸壁幼魚採集家/幼魚水族館館長)
清野聡子(九州大学大学院工学研究院 准教授)
海野光行(公益財団法人日本財団 常務理事)

■主催

一般社団法人海洋連盟

■共催

株式会社舵社、公益財団法人日本財団

■企画協力・運営

株式会社クリーク・アンド・リバー社



■優勝

鳳凰高等学校 UMI plus(鹿児島県)

■準優勝

大阪女学院高校 Bubbles(大阪府)

▼その他の受賞チームなど、決勝戦の結果はこちら

<https://umipos.com/koshien/result.html>

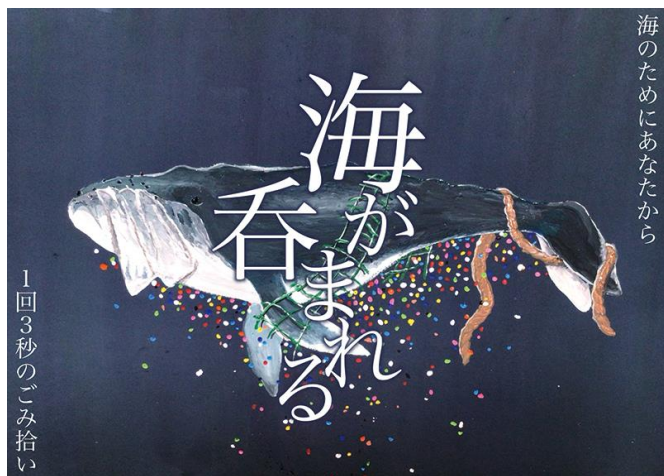
▼「うみぼす甲子園2022」決勝戦のアーカイブはこちら

<https://youtu.be/jL2d6LBhZ2U>

【報道機関からのお問い合わせ】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<http://www.cri.co.jp>



優勝に輝いた鳳凰高等学校 UMI plusのポスター作品



UMI plusチームの代表として堂々たるプレゼンを披露



準優勝に輝いた大阪女学院高校 Bubbles のポスター作品



準優勝の喜びに沸くBubblesチーム



アンバサダーの「う・み・ぼ・す甲子園」のかけ声からプレゼンスタート



各14チームによるプレゼンで会場は熱気に包まれた



《決勝進出全14チーム》

立命館慶祥チーム(北海道)／栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会(栃木県)／よこはまひとりざわ ボランティア部(神奈川県)／東海大学付属静岡翔洋高等学校 海洋戦隊シーレンジャー総本部(静岡県)／浜松学芸高校 地域創造コース(静岡県)／京都先端科学大学附属高等学校 Business Lab(京都府)／学校法人松蔭女子学院松蔭高等学校 Blue Earth Project Milk(兵庫県)／笠南ゆクエスト(岡山県)／香川県立高松東高等学校 芸術探究チーム(香川県)／愛媛県立南宇和高等学校 地域振興研究部(愛媛県)／鳳凰高等学校 UMI plus(鹿児島県)／与論高等学校 ゆんぬんちゅ(鹿児島県)／沖縄県立久米島高等学校 あーちゃんず(沖縄県)

【報道機関からのお問い合わせ】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<http://www.cri.co.jp>

C&R社は今回の「うみぼす甲子園 2022」決勝戦への協力のほか、小学生を対象とした3DCGプログラミング教室「みらいのおねんど特別教室」や子ども向けワークショップ「自分だけのAR写真展をつくろう！」の開催など、サステナビリティの取り組みの一環として、未来を担うプロフェッショナル人材を育成すべく、若い世代を対象とした教育関連イベントの開催・運営に積極的に取り組んでおります。C&R社およびグループ会社の事業領域は現在、映像、ゲーム、Webなどの18分野にまで展開し、ネットワークするプロフェッショナルは34万5,000人、クライアントは4万5,000社にまで拡大。C&Rグループは、これらの幅広いネットワークを生かし、ビジョンである「人と社会の豊かさの創生」の実現をめざしてまいります。

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

本 社：東京都港区新橋四丁目1番1号 新虎通りCORE

設 立：1990年3月

代 表 者：代表取締役社長 井川幸広

拠 点：東京(本社)・大阪・札幌・仙台・福島・大宮・横浜・船橋・高崎・金沢・名古屋・京都・神戸・高松・広島・福岡・
熊本・那覇/ソウル・上海・北京・ロサンゼルス

事業内容:映像、ゲーム、Web、広告・出版、作家、医療、IT、会計、法曹、建築、ファッション、食、コンピュータサイエンス、
ライフサイエンス、舞台芸術、CXO、アスリート、アグリカルチャーの18分野でプロフェッショナルに特化したエージェンシー(派遣・紹介)、プロデュース(開発・請負)、ライツマネジメント(知的財産の企画開発・流通)
事業を展開。プロフェッショナルの叡智で革新的な事業を無限に創造している。

U R L：<https://www.cri.co.jp> (コーポレートサイト)



【報道機関からのお問い合わせ】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<http://www.cri.co.jp>